

平成23年度「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」結果から見た本校の課題等

<p>教育方針 学校経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等については、「教育方針や指導の内容に共感できる」及び「自主性・創造性のある生徒を育てようとしている」にそれぞれ89%、79%の方からプラス評価をいただいたが、昨年度とほとんど変化がない。 ・生徒については、「指導方針や指導目標を分かりやすく説明受けている」、「人間としての基本的なモラルやマナーを身につけさせようと努めている」について、それぞれ6ポイント増したが、「一人一人の良さや可能性を伸ばすことに努めている」は9ポイント減となった。 ・生徒に対して本校の指導方針が浸透しつつある一方で、個々の良さや可能性を伸ばすという視点を一層持ちつつ指導にあたる必要がある。
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等の「授業や学校行事等を参観する機会等をよく設けている」のプラス評価が、81%を占め、開かれた学校については好意的に評価されている。 ・「保護者の悩みや相談に適切に対応している」については、プラス評価が55%で他の項目に比して低く、「わからない」という回答が3割をしめている。学校の姿勢や取組が見えづらく、気軽に相談しづらいと感じられているのかもしれない。育友会の会合や懇談会をはじめ、日常の電話連絡を含めて保護者との連絡を密にし、気軽に情報交換できる雰囲気づくりに努める必要がある。
<p>教職員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校訪問時や電話での適切な対応」「教育に熱心に取り組んでいる」において、保護者等からは昨年度より更に高い評価を得た。また、「熱心に学習指導・生徒指導などに取り組んでいる」の生徒のプラス評価は85%を占め、昨年度より3ポイント上がっている。 ・「生徒の悩みや相談事に親切に対応」については、生徒・保護者等ともプラス評価がそれぞれ69ポイント、65ポイントで、決して高い評価とは言えない。上記「家庭との連携」と同様の結果で、生徒に対しての教育相談体制の一層の充実が求められる。
<p>学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「先生方の専門知識が豊富で授業内容に満足ができる」「授業の教え方や説明がわかりやすい」については、プラス評価がともに前年とほぼ同じく81%、78%と約8割を占めており、生徒が学習指導面で教員を信頼していることが伺える。 ・一方、評価については各教科が実施している多面的な評価に対してプラス評価とした回答が6割にとどまっており、ガイダンス等での説明、及び時期に応じた説明をさらに徹底していく必要がある。 ・個々の能力等に応じた指導をしているかについてはプラス評価が6割台である。習熟度授業や少人数授業が主に自然科学コースや理系の一部で実施されているので、数字はそのためか。 ・「総合的な学習の時間」についてはプラス評価が5%増し、62%になったが、3割近くがマイナス評価であり、今後も本校ならではの総合的な学習の時間の内容を研究しなければならない。
<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりにあった生徒指導ができているのかという点が弱い。 ・身だしなみ、マナー指導は特に保護者に意図、趣旨は理解されているようだが、実の身だしなみに表れてない。 ・交通安全、痴漢防止など評価は高いが、まだまだ改善の余地がある。
<p>進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「適切な進路情報を示し、可能性を引き出そうとしているか」「生徒の将来の希望に沿った具体的な進路指導が行われているか」の項目について、昨年と同様生徒の7割以上が高評価をしている。保護者の評価はやや下回るが、生徒を通じての配布物などの不徹底が原因の1つとしてあるかと考えられる。情報提供のあり方についてさらに研究が必要である。

健康管理 安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・大震災により、生徒の防災意識も高く、防災避難訓練等の指導が生徒に浸透しつつある。 ・交通事故や不審者対策等の安全指導については、学年、クラス等の小集団で指導を徹底し、保護者にも理解が得られるように工夫する必要がある。
学校行事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「生徒会活動」へのプラス評価は6ポイント増加したが、マイナス評価が約3割と、相変わらず多い。 ・「学校行事」や「部活動」は満足度が高いが、「ボランティア」の満足度が低い。保護者では「わからない」が3割を占めている。
学校独自 項目	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホームページが情報提供やPRに役立っている」が、生徒・保護者ともに低い。ホームページの内容を検討し、一層の充実を図る必要がある。 ・「さわやか挨拶日本一」への取組に対して、生徒の44%がプラス評価、47%がマイナス評価をしている。半数近くの生徒が挨拶への取組の不十分さを感じており、改善が必要である。保護者のプラス評価も56%で、同様に十分な評価を得られていない。 ・学習指導や進路指導については、おおむね7割以上のプラス評価を得ている。